

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

# 公益財団法人 ハーモニイセンター

## 平成30年度

## 事業計画書



公益財団法人ハーモニイセンター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
電 話 03-3469-7691  
FAX 03-3469-7714

## 目次

—はしがき—	… 2
1 ポニーキャンプ、ポニークラブ、動物広場、牧場等の運営	… 3
1-1 ポニートレーニングキャンプ	… 3
1-2 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ	… 3
1-3 相馬ポニー牧場・ポニークラブ	… 4
1-4 小貝川三次元プロジェクト	… 4
2 ポニーキャンプ、ポニークラブ、動物広場、牧場等の受託管理	… 5
2-1 碑文谷公園こども動物広場	… 5
2-2 水元スポーツセンター公園子ども動物広場	… 5
2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場	… 6
2-4 万騎が原ちびっこ動物園	… 6
2-5 板橋こども動物園	… 6
2-6 海老名ふれあい動物施設	… 7
2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場	… 7
3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及	… 7
4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成	… 7
5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進	… 8
6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及	… 8
7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信	… 8
8 その他	… 9

## はしがき

29年度は経費の削減、自主事業の増加により、前々年度の赤字から黒字決算に転ずることができた。

今年度も引続き経費見直しと効率的な運営体制確立と共に、ポニーを初めとする現在の資源を有効活用することにより収益増を目指す。団体運営に関しては、立案・実行を一部職員間ではなく委員会形式で進めることにより、より多くの職員の参加意識と、各々が団体全体に目を向け、コスト意識を持つての各事業（各事業所）の運営を心がけることを促す。具体的には、現在策定中の中期計画に基づいて、人事・評価・研修委員会、安全委員会、新拠点準備委員会を設置し、職員の研修制度及び評価制度の確立、安全な運営に努め、数年先の新拠点開設を目指す。

### 【重点施策】

- ① キャンプの実施、動物広場の契約・運営、移動動物教室の在り方を総点検し、安定した経営基盤を築く。
- ② 研修制度及び職員評価制度の確立と推進、安全な運営、新拠点の開設についてはそれぞれ委員会を設置し、進める。

## 1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営

### 1-1 ポニーキャンプ・野外体験キャンプ

29年度担当者を2名増員した事によりキャンプ数も増え、より多くの参加者に満足して頂くキャンプを実施することが出来た。30年度は更なる新規キャンプの開拓・キャンプ数増により、より多くの参加者により良い体験を届けていく。

年間の実施回数、泊数、参加者見込は下表のとおり。

また7月末に東北支援事業の一環としてNPO法人亙理いちごっこと協力しポニーキャンプを実施する。

#### 【年間の代々木事業所主催キャンプ】

	実施回数	延べ泊数	参加数	
			子ども	大人
長期	29回	85泊	800名	0名
短期	13回	24泊	300名	50名
計	42回	109泊	1,100名	50名

【全国旅行業協会に入会したので、協会が主催するセミナー等を活用し、受付から実施まで、より安全で参加者家庭にとってより安心な事業実施の組み立てに努める】

### 1-2 HAC (ハーモニアクティブチャレンジ)

昨年度より始まった部活動。今年度はより多くのアクティビティを楽しんでもらうためHAC (ハーモニアクティブチャレンジ) と名前を変え、より多くのアクティビティを提供し、会員の方々に気軽に参加できる場を作っていく。

### 1-3 移動動物教室

自治体、学校、個人グループの求めに応じ、ポニー、馬のみを派遣し、出前乗馬または移動乗馬教室と称していたが、モルモットなど、ふれあい用小動物の要請が増えたため、一昨年より『移動動物教室』としている。前年度より、牧場、相模原、事務局の担当者が中心となって、内容・料金の均一化を図っている。前年度と同程度の70回前後の実施が見込んでいる。

特徴的なものとしては、一般財団法人日本ユースホステル協会の東京都ひとり親家庭福祉協議会事業の受け入れ、取手市内において高齢者支援施設の利用者の体験活動を実施する。

### 1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ

開設から40年がたった今も、ポニーキャンプ、ポニーの生産・調教、移動教室の基地、カウンセラー・スタッフの研修会、新旧のメンバーが交流する最重要の場であることに変わりはない。

この役目の再認識から、その機能を最大限に引き出すため、各所の改修を初めとし、牧場を中心とした広範囲な地域との連絡・連携を深めながら利用者増を図る。

#### 【事業内容】

- ① 野外教育施設としてのポニーキャンプ (主催事業) ・ボランティアリーダー研修。
- ② 蓼科ポニークラブ (月2回日曜日の午後)
- ③ 他団体日帰り・宿泊乗馬体験
- ④ 移動乗馬教室

- ⑤ 引き馬・乗馬レッスン
- ⑥ ハーモニイセンタースタッフの乗馬技能・馬匹管理研修
- ⑦ 他の事業所と連携してのポニー・馬の繁殖、調教、育成
- ⑧ 団体・個人での研修受け入れ・相互交流
- ⑨ 学校向け、修学旅行・オリエンテーションの受け入れ
- ⑩ ポニーライダーズカップ開催
- ⑪ ポニーステイ（小中学校へのポニー貸出しと運営・指導の支援）
- ⑫ NPO 法人ハーモニイカレッジとの人材交流、合同プログラム開発。
- ⑬ セラピーホース等の預かり、新馬調教、再調教の預託
- ⑭ 平日の活用として育児支援に取り組む（例：森のようちえん）

## 1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ

今後の方向性としては、地元と協力しながら、老朽化した建物を解体し更地の方向で進めていき、鹿島も含めた東北の拠点を検討していきたい。

現在、引続き地域の除染土仮置き場、近隣のNPO法人の職員宿舎、倉庫として活用しているが、地域の「かつての事業再開」に応える見通しも立たぬことから、中途半端な状態を終えるべく、不要な設備、施設の撤去に着手する。

同時に、東京電力への賠償請求については、これまで直接行なった3回で止められたため、原子力損害賠償紛争解決センターによる和解仲介（ADR）申し立てに方針転換して進める。

## 1-6 小貝川三次元プロジェクト

10月には取手市で第18回川に学ぶ体験活動全国大会が開催され、NPO小貝川プロジェクト21の皆さんと共に、全国の川で活動している人々を迎える。この機会にどれだけハーモニイセンターの活動を発信できるか見せられるものを（内容、見せ方共に）用意できるかが上半期の課題であり、他事業所や新拠点に結びつけるための新たな動き（キャンプ、移動動物教室、イベント）の拠点としての存在感を示すことが今年度のテーマとなる。

### 【事業内容】

- ① ポニー牧場の運営
  - 1. 乗馬（引き馬、団体レッスン・個人レッスン）
  - 2. 高齢者健康乗馬
  - 3. 川べり乗馬トレッキング
  - 4. 障害児・者の乗馬
  - 5. 移動動物教室（幼稚園・保育園・小学校・一般・高齢者）
  - 6. ポニー教室（三次元プロジェクト会員の小学校1年生～中学校3年生）
  - 7. ふれあい動物園（保育園・幼稚園・小学校・一般・高齢者向）
  - 8. キャンプの実施（自主事業・委託事業）
  - 9. 青少年ボランティアの育成
  - 10. 河川騎馬パトロール
  - 11. 河川整備
  - 12. 乗馬指導・乗用馬管理指導
- ② 小貝川生き生きクラブの運営受託（施設管理）
  - 1. パソコン教室（高齢者向け・週1回開催）
  - 2. 馬頭琴サークル（不定期開催。開催は理事長室）
- ③ 川遊び体験教室、子どもの水辺安全講座（5月～11月）
- ④ マウンテンバイクツアー（年2回程度）
- ⑤ 団体受け入れ
- ⑥ NPO法人川に学ぶ体験活動協議会所有資機材（ボート、ライフジャケット）の管理と貸出業務

## 2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理

動物広場（ふれあい動物広場、動物園）の運営は、全て各自治体（万騎が原、海老名については公園を管理する指定管理者）とハーモニイセンターとの間で交わす契約書・仕様書（委託）、協定書（指定管理者）に基づいて行われる。

この夏から秋にかけて、指定管理者である碑文谷、相模原では次期（5年）の指定を受けるための審査がある。既に29年度から準備を始めているが、準備のみならず、審査会前から審査は始まっていると認識し、日常の運営についても緊張感を持って臨む。また、板橋では8月より本園の改装工事に入るため、動物等の移動があり、引続き運営を行なう分園でも本園事業の補填のために新たな運営が求められるため、それらを事故なくスムーズに進めることに努める。

また、全事業所で場内の整理整頓、丁寧な清掃、丁寧な対応により、これまで以上に来園者にとって居心地よく、「また行きたい」と言ってもらえる広場作りを進める。

### 【施設概要一覧】

	所管課・契約先	面積等	飼育動物	職員数
碑文谷	目黒区都市整備部みどりと公園課	3,310 m <sup>2</sup>	ポニー6頭・ウサギ・モルモット・犬・亀	6名
水元	葛飾区教育委員会地域教育課	3,263 m <sup>2</sup>	ポニー10頭	10名
相模原	相模原市環境保全部公園課	15,000 m <sup>2</sup>	ポニー21頭・ヤギ・ヒツジ・モルモット・ウシ・ブタ・リスザル・アライグマ・シマリス・ミーアキャット・ハイラックス・シカ・ウサギ・鳥類・クジャク・チャボ等	18名
万騎が原	公益財団法人横浜市緑の協会	2,000 m <sup>2</sup>	モルモット・日本鶏・ハツカネズミ	3名
板橋 2園	板橋区土木部みどりと公園課	本園 1,907 m <sup>2</sup> 高島平分園 583 m <sup>2</sup>	ポニー4頭・ウサギ・モルモット・ヤギ・シカ・ヒツジ・フラミンゴ・クジャク・カメ・鳥類・リス等	10名
海老名	相鉄企業株式会社	2,014 m <sup>2</sup>	ポニー2頭 モルモット、ウサギ、チャボ	3名
上千葉	葛飾区都市整備部公園課	2,100 m <sup>2</sup>	ポニー5頭・ヤギ・ミニブタ・ウサギ・シマリス・リスザル等	6名

### 【各施設事業内容等】

#### 2-1 碑文谷公園こども動物広場（ポニー園）

- ① ポニー引き馬乗馬
- ② 団体向け乗馬ポニー教室(障害児グループ・幼稚園・保育園・学校・一般グループ)
- ③ ポニー乗馬教室（4～6月、7～9月、10～12月、1～3月の年4期）
- ④ 小動物とのふれあい
- ⑤ 動物クラブ（動物飼育体験クラブ）
- ⑥ イベントの開催（ポニーまつり、大人・親子乗馬会など）

#### 2-2 水元中央公園子ども動物広場（ポニースクールかつしか）

- ① 健常児、障害児のための乗馬教室
- ② 幼稚園、保育園、特別支援学校の団体乗馬教室

- ③ 幼児、小学生対象の引き馬乗馬
- ④ ホームページによる広報活動、日々の活動報告
- ⑤ 夏子ども祭り、クリスマス音楽会、区民誰でも乗馬会、卒業式などの特別事業
- ⑥ 区内のお祭りへ出張乗馬、見本演技披露（年2回）
- ⑦ 介護予防高齢者乗馬

### 2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

- ① 小動物とのふれあい（ウサギ・モルモット・ヤギ・ヒツジ）
- ② 指導員付ポニー乗馬（引き馬）
- ③ 親子によるポニー乗馬（二人乗り引き馬・提案事業）
- ④ 飼育動物利用のイベント開催（羊毛クラフトなど・提案事業）
- ⑤ 子育て支援の一環としての親子ポニー教室（提案事業）
- ⑥ ポニーボランティアの育成（提案事業）
- ⑦ 毎月の特別企画（父の日母の日乗馬、敬老の日乗馬、動物と記念写真など）
- ⑧ ポニー教室
- ⑨ 障害児乗馬教室
- ⑩ 搾乳体験
- ⑪ 展示動物の飼育管理
- ⑫ 動物クラブ（飼育体験クラブ）の指導運営
- ⑬ 春・秋の動物フェスティバル
- ⑭ 近隣へのお出張乗馬教室
- ⑮ 幼稚園・保育園・学校等の団体の利用受け入れ
- ⑯ 近隣施設（相模川ふれあい科学館）との協力プログラム、水棲生物展示など

### 2-4 万騎が原ちびっこ動物園（野毛山動物園分園）

- ① 小動物とのふれあい
- ② 展示動物の飼育管理
- ③ イベントの開催（ポニー体験乗馬会、ヒツジの毛や鶏の羽を使った工作教室など）
- ④ 野外活動センター体験キャンプ受け入れ
- ⑤ 年3～5回程度のポニー体験乗馬プログラム

### 2-5 板橋こども動物園（本園・分園）

平成30年度、本園が建て替えとなるため、28年度に引き続き、施設建設についての助言を行ってゆく。

- ① 小動物のふれあい（ウサギ・モルモット・山羊・羊）（本園・分園）
- ② 引き馬指導員付ポニー乗馬（本園通年・分園年5回）
- ③ 展示動物の飼育管理（本園・分園）
- ④ ポニー教室 年5回（本園） 4月～12月までの間 1クール5日間。
- ⑤ 馬車の運行（本園） 毎月1回
- ⑥ 幼稚園・保育園・小学校・障害者団体等の受け入れ（本園・分園）内容 モルモット抱っこ・引き馬
- ⑦ 出張ふれあい教室 概ね年10回（本園） 使用動物 モルモット・ウサギ・山羊・ポニー
- ⑧ 動物クラブ（飼育体験クラブ）の指導・運営（本園・分園） 小学校3年生～中学生まで 休園日以外活動可能 時間 開園～閉園時まで。
- ⑨ 動物園祭り（本園） 毎年10月 内容 日常業務に加え2人乗り引き馬・羊毛クラフト・動物バッジ他 冬のミニイベント 12月～2月毎週日曜日（分園）  
動物園祭り（分園） 毎年11月 内容 日常業務に加え1人乗り引き馬・羊毛クラフト・動物バッジ他 冬のミニイベント 12月～2月毎週日曜日（分園）
- ⑩ 就労困難者の受入
- ⑪ 本園動物の預かり  
蓼科ポニー牧場（ポニー・ヤギ・ヒツジ）  
小貝川ポニー牧場（うさぎ・モルモット）

- ⑫ 本園地域での出張動物園

## 2-6 海老名ふれあい動物施設

- ① 馬車の運行
- ② 引き馬指導員付ポニー乗馬
- ③ 小動物とのふれあい（ウサギ、モルモット、チャボなど）
- ④ 各種イベントへの出張活動
- ⑤ 幼稚園・保育園・学校等の団体プログラム
- ⑥ 夏、冬のポニー体験教室（それぞれ10回、5回）、春の親子ポニー教室
- ⑦ 物産品、関連グッズの販売

## 2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

- ① 小動物とのふれあい（ウサギ・モルモット・ヤギ）
- ② 引き馬によるポニー乗馬（1頭に付き2名で対応）
- ③ 動物愛護クラブの指導運営（期間や時間を定めての実施）
- ④ ポニー教室の実施（3回・各5日間・各1時間）
- ⑤ 展示動物の飼育管理（リスザル・シマリス・鳥類）
- ⑥ 出張動物園の実施（区内の高齢者施設や障害者施設、養護学校が対象）
- ⑦ 職場体験（中学生・高校生・専門学校生）

# 3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及

## 3-1 三鷹市立第一小学校における馬を軸にした体験活動

市立小学校で授業時間中に丸1日かけて行われる事業に馬と指導者を派遣する。年4回実施され、今年度は4年計画の3年目となる。

## 3-2 その他の体験活動

都内小学校で半日PTAその他と共同して、命の授業を担当する。

# 4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成

26年度、国土交通省関東地方整備局利根川河川事務所によって河川協力団体に認定された際に策定した5年間の活動実施計画に基づき、小貝川ポニー牧場を中心として河川に賑わいを取り戻し、環境点検・保全・清掃・事故防止・災害時に貢献するべく、活動する。また、次の5年に向け、事業計画を策定する。

### 【事業内容】

- ① 騎馬による河川パトロール活動（年数回、危険箇所等のチェック、ごみ拾い）
- ② 移動乗馬教室開設（河川敷、各種教育福祉施設広場など）
- ③ 河川流域関連イベント参加
- ④ 河川流域関連学習、研究会の開催
- ⑤ 河川敷の除草
- ⑥ NPO小貝川プロジェクト21と協力し、10月に開催される川に学ぶ体験活動協議会の全国大会を運営する。

## 5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進

### 5-1 モンゴル大草原乗馬交流

昨年まで調査のためお休みしていたが、今年度8月3～10日に実施予定。

### 5-2 日独青少年相互交流計画

日本とドイツの青少年がお互いの国を行き来し、異文化交流を通して学びあい、国際的視野を広げる機会とする。隔年で派遣と受け入れを交互に行っており、今年度は受け入れの年となる。

本事業開始時からのパートナーである大崎市鳴子国際交流協会と合同で受け入れする。

また、並行して官民間わず、受け入れも含めた新たなパートナー探し、翌年の受け入れ経費捻出のための調査（助成金申請・協賛企業探し等）、また2年後に控えた30周年に向けた準備を進める。

日程	10月13日～29日
人数	15人程度
対象	16歳～30歳の青少年

## 6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及

治療的乗馬協会、全国乗馬倶楽部振興協会、その他のグループが乗馬の効用、馬の活用状況に関連して実施する研究集会、調査、交流会等に積極的に参加・協力し、当会が蓄積してきたノウハウ、成果等を積極的に発信すると共に、参加職員の研修、情報収集にも努める。

## 7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信

### 7-1 機関紙「THE HARMONY CENTER」の発行

タブロイド判を復刊すると共に、ハーモニセンターに連なる多彩な会員・関係者に取材することにより、キャンプ中心ではなく、大人も楽しめる読み物として質の高い情報発信に努める。

- ① 発行ペース：月刊
- ② 掲載内容：ハーモニセンターの行う「社会教育活動」の紹介
- ③ 発行部数：各号2,000部
- ④ 設置場所：公的機関（役所・公立図書館）および有料で設置できる場所（郵便局・銀行）

### 7-2 WEBによる広報活動

複雑なシステムの改善と経費節減のため、HP全体の製作並びに管理、レンタルサーバーとその管理、予約管理システム（キャンプなど事業への申込・参加費・会費の入金確認など）の業者を交代する。

### 7-3 パンフレット・チラシ・ミニコミ誌の活用

インターネット環境のみに頼ることなく、紙媒体をも充実させ、「全職員広報マン」の意識を持って牧場、動物広場への利用者誘導に努める。

### 7-4 映像（スライドショー・動画）による日常的な情報発信

各事業所の来場者にハーモニセンター全体の事業、取り組みを知っていただくため、ディスプレイを配置し、写真・動画を見られるようにする。

## 8 その他

### 8-1 人材育成

#### 8-1-1 職員

今年度より人事・採用・研修委員会を設立。年間通じた階層・年齢層・テーマに合わせた研修プランを作成し、実施する。

また社外のシンポジウム、セミナー、研修会に積極的に職員を出席・参加させる。

#### 8-1-2 ポニーキャンプカウンセラー研修

子どもトレーニングキャンプを中心とした、ハーモニィセンターが主催する全ての事業に参加する青少年を対象とし、活動を通じてハーモニィセンターの活動趣旨を理解・体感・賛同し、技術を体得する事で自信を持って積極的に活動を推進する一員となることを目的とする。

##### ① 宿泊研修会

	研修会名称	実施期間	会場	参加数
1	新人カウンセラー牧場研修会	6月8日～10日	蓼科ポニー牧場	10名
2	登山研修会	6月30日～7月1日	八ヶ岳	10名
3	新人カウンセラー牧場研修会	6月29日～7月1日	蓼科ポニー牧場	10名
4	カウンセラー研修	11月23日～25日	蓼科ポニー牧場	10名
5	カウンセラースキー研修	12月8日～9日	蓼科ポニー牧場	10名
6	スキー研修会	2月3日～6日	ヤマホクワイルドスノーパーク	8名
7	牧場研修会	2月3日～6日	蓼科ポニー牧場	10名
8	牧場研修会	2月21日～24日	蓼科ポニー牧場	10名
	計 8回	延べ17泊		78名

\* 8はハーモニィカレッジとの合同研修会。

##### ② 日帰り研修会

各種技術（ギター、レクリエーション、プログラム作り、ポニーの扱い、野外炊事技能等の自然体験活動、安全管理等）の習得及びカウンセラー同士の相互理解を目的とする。（会場は国立青少年センター、動物広場など）

### 8-2 他団体との連携等

#### 8-2-1 役員等派遣

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人日本Gボール協会、一般財団法人日本ユースホステル協会に役員を、中央青少年団体連絡協議会に世話人を派遣する。

また、馬の調教や乗馬指導に関する指導を依頼される団体、機関に指導者を派遣する。

#### 8-2-2 運営協力

治療的乗馬研究集会、SAN (Social Active Network of outdoor education)、大都市圏動物園事務主管者会議、河川流域交流会、障がい者乗馬交流会、CONE フォーラム・RAC フォーラム、日本ユースホステル協会（一人親家庭応援プログラム、馬の楽校）の運営に協力する。

#### 8-2-3 馬預託

東大牧場初め、依頼のあった場合、馬・ポニーを預り、管理・調教を行う。

### 8-3 団体運営体制整備

引き続き各種規程の見直し・整備を進めると共に、職員の待遇改善を図り、将来への不安を感じることなく、夢を持って日々の業務に取り掛かってもらえる環境を作る。

### **8-3-1 委員会**

- ① 人事・評価・研修委員会  
現在の採用委員会を拡大し、評価制度の運用、研修の企画実施まで手がける。  
馬の指導における内部審査制度。
- ② 安全委員会  
各事業所の安全管理マニュアル2018年度版を作成し、各事業所、全職員で共有する。  
各事業所場長で構成し、施設長会議で情報交換、課題の解決を図る。  
ヒヤリハットの収集
- ③ 新拠点準備委員会  
中期計画に基づき、首都圏100km圏内の新拠点開設並びに新規受託施設の獲得を図る。

### **8-3-2 キャンプ受付方法・入金方法の変更**

キャンプ受付、入金（HPからの申込、クレジット決済）に関し、より安価で活用しやすい業者に変更する。

### **8-3-3 団体内託児事業の研究**

子育てをしながら業務に就いている女性職員、近い将来子育てに入る職員は、現在全職員の1割近い7名（休暇中の職員・予備軍を含む。）に上り、団体・事業の性格上、こうした職員が安心して業務を続けるための仕組みづくりが急務となっている。今年度、団体内託児事業についての研究に着手する。

### **8-3-4 法人のコンプライアンス制定**

### **8-3-5 職員のメンタルヘルス対策の導入促進**